

記載例 建物滅失届出書

受付印

市に届け出ている名義人を記載してください。

所有者	住所 栃木県小山市中央町1-1-1
	氏名 小山 太郎
所在地	小山市 中央町1-1-1
建物種類	物置
構造	軽量鉄骨造 葺1階建
床面積	30.03 m ²
滅失日	平成 令和2 年 4 月 1 日
滅失理由	1. 建て替えのため 2. 老朽化のため 3. その他
添付書類	1. 解体証明 2. その他()
滅失後の土地利用	1. 家屋建築予定 2. 売却予定 3. 現況維持 4. その他()

※欄は記入しないで下さい。

建物周辺配置図(所在地の全ての家屋が滅失する場合は記入する必要はありません)

現存している建物と取り壊した建物が混在している場合は、俯瞰図を概略で記入してください。

届け出た日を記入してください。

上記のとおり滅失したので、届けます。

令和 2 年 4 月 5 日

小山市長 様

届出人の住所氏名電話番号を記入して捺印してください。

栃木県小山市中央町1-1-1
小山 太郎

電話番号 **0285-23-1111**

未登記家屋の判断方法

未登記家屋かを判断する場合は、毎年送付される納税通知書をご覧ください。

令和〇 年度 固定資産(土地・家屋)課税明細書

小山 太郎 様 宛名コード 123456

区分	所在地	地積・床面積	負担水準	固定資産税		都市計画税	
				前年度課税標準額	軽減等税額	前年度課税標準額	軽減等税額
家屋	中央町1丁目1-1	163.20	10	3,000,000	0	3,000,000	9,000
家屋	中央町1丁目1-1	30.03	10	300,000	4,200	300,000	900

課税明細書の家屋番号が記載されていないものが未登記の家屋になります。

建物を取り壊した年に滅失届出書を提出した場合は、滅失証明書の添付は必要ありません。

下記の場合は解体業者に滅失証明書作成していただき、滅失届出書に添付していただく必要がありますのでご注意ください。

- ・建物を取り壊したことを翌年に届け出た時

例:平成27年1月に建物を取り壊し、同年9月に届け出た→滅失証明書の必要はありません。
平成27年9月に建物を取り壊し、平成28年1月に届け出た→滅失証明書を添付していただく必要があります。

問い合わせ先
小山市役所 総合政策部 資産税課 家屋係
Tel.0285-22-9434